

# 学生のアクティビティ

## 舞踊教育学 コース



毎回幅広く本学の学生の活動を紹介する「学生のアクティビティ」  
今回は、昨年の全日本高校・大学ダンスフェスティバルで、  
最優秀賞である「文部科学大臣賞」を受賞した舞踊教育学コースの学生に、  
活動内容を紹介していただきます。

文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コースは、国立大学で唯一、舞踊を専門的に学ぶことのできる大変珍しいコースです。モダンダンスやコンテンポラリーダンスを中心に、理論と実践の両面からダンスを追求していきます。1学年16人と少人数、入学の時点では狭き門です。しかし、入学後は仲間とともに毎日ダンス漬けの日々。様々な側面から舞踊について自由に学ぶことができます。座学はもちろん、実技の授業も充実しており、毎年8月には全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸への参加、4月には1年間の集大成として創作舞踊公演を行っています。また、海外研修への参加機会もあり、7月にはフランスのCNDへCampingの参加、11月には協定校である、韓国芸術総合学校舞踊院の卒業公演での作品上演など、様々なチャンスに恵まれています。

### 全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸

女子体育連盟と神戸市及び神戸市教育委員会が主催する全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸は、創作ダンスの甲子園とも言われている全国大会です。毎年8月に日本各地から多くの高校・大学が神戸に集まり、それぞれの作品を上演し創作の完成度を競い合います。

舞踊教育学コースも毎年この大会の創作コンクール部門に出場しており、これまでも数々の賞を受賞してきました。大会出場のメンバーは、「舞踊上演法実習」の授業履修者で、1～3年生例年20名程が4月から8月の大会まで、作品創作・練習を行っています。授業時間のほかに、放課後も練習をします。

特に6月以降はほぼ毎日、平日は17時から21時まで、土日は13時から18時まで練習しています。

2017年にこの大会は開催30回目を迎えました。記念大会となった今回、大学創作コンクール部門は全国から29校が出場し、各大学が力作を出品、かなりの接戦となりました。

お茶大の今年の作品「女たちの狂詩曲」は、3年生6人が中心となり創作した作品です。テーマは「ジェンダー」。ストッキングを用いて女性の性差別や人権問題をテーマに作品創作をしました。わたしたち女子大生にしかできないことをやりたい、社会に訴えかけるような作品を創りたいと、毎日朝から晩まで話し合い、創っては壊しを繰り返し、先生やコーチからたくさんご指導をいただいて完成した作品です。



第30回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸の様子



11月韓国芸術総合学校舞踊院にて



日本舞踊の授業

お茶大はジェンダー研究が盛んです。ジェンダーに関する授業が多いので、入学してこれまで、ジェンダーに触れる機会がたくさんありました。これは、お茶大という女子大ならではの環境だなと感じ、お茶大ではなく共学の大学だったらなかなか考えない分野に、あえて挑戦を試みました。テーマがかなり繊細なだけに、そこから生み出されるエネルギーは強烈でした。1～3年生計21人で何十ものシーンや振付を試し、小道具も自分たちで制

作し、衣装も何パターンも作りました。結果、文部科学大臣賞を受賞。創作作品の完成度の高さに対して贈られる最高賞で、お茶大としては12年ぶりに全国1位を頂くことができました。それまでの創作プロセスが実を結び、このような高評価を頂けたこと、また、恵まれた環境のもとで、創作だけでなく様々なことを勉強できたことを心から嬉しく思います。

## 創作舞踊公演

毎年4月に、舞踊教育学コースは創作舞踊公演を行っています。これは、後期の「舞踊創作法実習」という授業の集大成として、各学年が創作した作品を発表します。この創作舞踊公演は舞踊教育学コースの一大イベントで、まず入学してすぐ、新1年生はこの公演の表方スタッフとして携わります。また、新4年生にとってはこの公演は卒業公演であり、作品創作のみならず、公演に至るまでの制作も学生主体で行います。出演者全員が、より良い公演にするために、自分たちがやりたいこと・伝えたいことを観客に伝えるためにはどうしたら良いのかを試行錯誤しながら、公演当日まで様々な工夫を積み上げていきます。作品創作にマニュアルはありません。またそれに伴う制作業務もいかにクリエイティブに考え、実行できるかが鍵となっています。そのため、仲間とぶつかることも頻繁にあります。本気で考え本気で意見を出すことは、時間もストレスもかかりますが、この機会が自分たちの成長に大きく繋がっているのだなと感じます。他大学では絶対にできないことだから

こそ、みんな全力で取り組んでいます。

舞踊教育学コースの学生がパワフルでエネルギッシュな

のは、何かを創り上げることにかける熱意が物凄いからだと思います。次の創作舞踊公演に向けて夏休み明けから準備を重ねてきました。そんな学生たちのダンスを、熱意を、ぜひ観て感じて頂きたいなと思います。熱心なご指導をしてくださる先生方をはじめ、助手室アカデミックアシスタントの方々、先輩方の多大なご協力のもと、今回の公演が成功につながるよう、精進していきたいと思っています。

文責：文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース 3年 内藤 治水



第44回創作舞踊公演の様子

### 公演詳細：第45回お茶の水女子大学創作舞踊公演

- <日 時> 2018年4月27日(金) 開場 18:30 開演 19:00  
 <場 所> なかのZERO 大ホール  
 JRまたは東京メトロ東西線中野駅南口から徒歩8分  
 <予定プログラム> 各学年群舞・4年生小作品・委嘱作品・ゲスト招聘作品  
 AJDF文部科学大臣賞受賞作品「わたちの狂詩曲」 他  
 <チケット予約 問い合わせ> MAIL: ochadance2018@gmail.com  
 TEL: 03-5978-5271 (舞踊教育学コース助手室)

※メールでのチケットご予約の際は、お名前とご希望枚数をご記入の上、件名をチケット予約とし、上記のアドレスにお願いいたします。

## 学生のアクティビティ